



全日本社会人

## メイプル 今年も3位

松村 両手に花 ベストセブン・最優秀新人賞

## 湧永、過去最低の7位



▲男子  
**4年連続 笑顔いっぱい**  
▼女子



### 県中学校選手権

第43回県中学校選手権は7月19、20日、中国中学校選手権の出場権をかけて呉市総合体育館（オークアリーナ）で行われた。

男子は7校、女子は6校が参加し、トーナメント方式で優勝を争い、男子は甲田が呉中央を下し6年連続11度目、女子も甲田が亀山を破り4年連続19度目の優勝を飾った。甲田の男女優勝は4年連続10度目となる。

甲田の男女は2、3日に島根県浜江市の島根県立体育館などで開かれる中国大会に出場する。

男子では優勝した甲田のゾーンが競り合いを演じた。1回戦で修道が前回2位の片山に前半リードされたが、後半に追いつき延長にもつれ込む戦いを制した。準決勝は甲田、呉中央とも前半の優位を保って快勝した。

女子は予想通り甲田と亀山が力の差を見せつけて決勝に進出した。両校の対決は今回で9年連続となったが、甲田が前半のリードを生かして亀山の追い上げをかわして8点の差をつけて逃げ切った。

甲田今年も男女Vだ

全日本社会人選手権は7月2日から5日間、名古屋市の中村スポーツセンターなどで開かれた。

中山監督一杉山コーチの新体制で初の公式戦に臨んだ男子の湧永製菓は、予選トーナメント2回戦でトヨタ車体に敗れて決勝リーグ進出を阻まれ、順位決定戦でトヨタ紡織に逆転勝ちしたが、7位と過去最低の順位に終わった。

2年ぶりの優勝を目指したメイプルレッズは、決勝リーグで北國銀行、ソニーにいずれも追い上げられて引き分け。最終戦のオムロンでは終了直前に決勝ゴールを許し、2分け1敗で前回に続き3位となった。

男子はトヨタ車体が初優勝、女子は北國銀行が3年ぶり4度目（実業団を含む）の優勝。

個人賞ではメイプルレッズの宋海林と新人松村がベストセブンに選ばれ、松村は最優秀新人賞も合わせ獲得した。

《全日本社会人選手権》＝広島関係分

【男子】

▽予選トーナメント1回戦

湧永製菓40（19-11、21-10）21HC岐阜  
▽同2回戦

トヨタ車体32（15-10、17-13）23湧永製菓  
▽5-8位決定戦

大同特殊鋼39（14-15、25-15）30湧永製菓  
▽7、8位決定戦

湧永製菓38（16-20、22-15）35トヨタ紡織  
▽決勝リーグ順位

①トヨタ車体3勝②大崎電気2勝1敗③琉球コラソン1分け2敗④豊田合成1分け2敗（3、4位は得失点差による）

【女子】

▽予選トーナメント1回戦

メイプルレッズ24（14-8、10-11）19香川銀行  
▽決勝リーグ

メイプルレッズ25（12-10、13-15）25北國銀行  
メイプルレッズ26（13-10、13-16）26ソニー

オムロン25（11-13、14-11）24メイプルレッズ  
\*順位 ①北國銀行2勝1分け②オムロン2勝1敗③メイプルレッズ2分け1敗④ソニーセミコンダクタ1分け2敗

【表彰】＝メイプルレッズ

\*ベストセブン 宋 海林（4年連続4度目）  
松村 杏里（初）

\*最優秀新人賞 松村 杏里

## 世界学生男子代表に野村・子安

### 3日からポルトガルで開催

《県中学校選手権》

【男子】

▽1回戦

昭和45（19-5、26-6）11誠之  
甲田43（21-15、22-17）32昭和北  
修道33（12-14、12-10）5-2、4-3）29片山

▽準決勝

呉中央35（16-5、19-11）16昭和  
甲田34（17-12、17-15）27修道

▽決勝

甲田31（17-11、14-12）23呉中央

【女子】

▽1回戦

昭和17（5-5、12-5）10己斐之  
昭和北30（16-3、14-3）6誠之

▽準決勝

甲田39（26-3、14-1）4昭和  
亀山39（22-3、17-5）8昭和北

▽決勝

甲田28（13-7、15-13）20亀山



世界学生選手権は3日からポルトガルで開催される。日本は男女の代表を送るが、男子は湧永製菓の野村浩輝（写真①）とルーキー子安貴之が選出された。

野村・子安が世界の舞台でどのようなプレーで貢献するかが期待したい。

大会には男女とも12カ国が参加、それぞれ3組に分かれて予選リーグを行ったあと決勝トーナメントで順位を決める。日本は男子がC組に組み込まれ、ラジール、スペイン、ルーマニアと対戦する。女子はA組に入っており、地元ポルトガルのほか、ロシア、メキシコと予選リーグを戦う。

23、24日に島根で中国ミニ二国体

# 少年男女に注目

10月に長崎県で開かれる第69回国体の中国予選(中国ミニ二国体)は23、24日に島根県浜田市の島根県立体育館などで開かれる。県勢の出場メンバーが下記の通り決まった。成年はいずれも単独チームで参加。男子は湧永製菓、女子は広島メイプルレッズが出場するが、本大会代表権獲得は固い。

注目は選抜で出場する少年男女。今年の中国地区の出場枠は男子が2、女子が1。リーグ戦の男子は2位以上を狙いたい。男子は米田健広高監督、女子は青戸あかね山陽高監督が率いる。男子は富山大会以来13年間、女子は岡山大会以来8年間本大会に出場していないだけに、奮起が待たれる。

◆少年男子◆=県選抜

No	選手名	背	身長	学校名
1	宮本 昌也	③	180	向原 広
2	田原 啓太	③	170	向原 広
3	中山 翔太	②	172	向原 広
4	實藤 大地	③	175	向原 広
5	岡部 光樹	①	171	向原 広
6	板村 誠	①	178	向原 広
7	岸田 晃史郎	②	170	修道 道
8	中野 雄介	②	172	修道 道
9	三苦 勇輝	③	185	陽工 陽
10	上相 幸也	③	173	呉工 陽
11	渋川 英晃	①	162	呉工 陽
12	長法 圭汰	②	175	呉工 陽
13	今井 寛	③	170	廿日市
14	古川 慶悟	③	172	廿日市

◆少年女子◆=県選抜

No	選手名	背	身長	学校名
1	松尾 満里	③	169	清水ヶ丘高
2	国廣紗弥香	③	153	山陽高
3	中西 由乃	③	163	山陽高
4	久保 晴香	③	162	山陽高
5	前場 桃子	③	152	山陽高
6	山下 綾香	②	149	山陽高
7	塩谷 緋子	②	159	山陽高
8	板倉 舞	②	154	山陽高
9	吉政 真来	①	156	山陽高
10	三宅 菜月	①	164	山陽高
11	上田 らん	③	164	山陽高
12	斎藤 瞳	②	165	山陽高
13	木村 凜	①	162	山陽高
14	平川 結衣	①	163	山陽高

◆成年男子◆=湧永製菓

No	選手名	年齢	身長
1	志水 孝行	30	186
2	仁平 昌利	25	187
3	野村 浩輝	23	170
4	新名 亮介	24	172
5	稲毛 隆人	22	182
6	萩原 良太	22	187
7	中浦 成崇	26	183
8	今井 昭仁	31	190
9	佐藤 智仁	29	181
10	桑野 弘規	27	178
11	樋口 陸	27	181
12	伊藤浩太郎	23	188
13	小川 航生	23	186
14	子安 貴之	22	181

◆成年女子◆=メイプルレッズ

No	選手名	年齢	身長
1	田口 舞	26	167
2	増田 寛那	24	175
3	高橋 佑奈	24	157
4	門谷 舞	23	163
5	大前 典子	31	158
6	木村 あい	23	168
7	松村 杏里	23	169
8	塩見 綾香	24	171
9	高山 智恵	23	168
10	加須屋朝絢	23	163
11	石田 紗貴	23	155
12	林 あずみ	23	170
13	笠木 美希	23	165
14	角屋 里帆	23	167

湧永製菓  
メイプル  
成年男女の出場権獲得は固い

■西日本インカレ(男子) ■=広島関係分

【男子】

▽予選リーグD組

広経大15(10-10、5-16) 26大同大  
広経大19(9-16、10-17) 33立命大  
広経大22(11-13、11-12) 25鹿児島大  
\*順位 ①大同大3勝②立命大2勝1敗③鹿児島大1勝2敗④広経大3敗

## 西日本学生選手権(男子)

男子第53回西日本学生選手権は7月4日から5日間、徳島市立体育館などで開かれ、広経大は予選リーグD組で3戦3敗で4位に終わり、各組1位で争う決勝トーナメント進出はならなかった。

中四国学連からは春季リーグ優勝の高松大など6大学が出場したが、すべて予選リーグで敗退した。高松大はF組で2位となり、H組2位の福岡大と全日本学生選手権出場決定戦をかけて戦ったが、かなわなかった。

優勝は大体大で4年ぶり31度目の頂点に立った。

全日本学生選手権には優勝した大体大をはじめ、決勝トーナメントに進出した8校と、出場決定戦を勝ち抜いた4校が出場する。

広経大予選敗退

## 女子は27日から東区SCで開催

女子第44回西日本学生選手権は27日から4日間広島市東区スポーツセンターで開催する。

出場は関西7、東海、九州、中四国からそれぞれ3校の合わせて16校。4組に分けて予選リーグに次いで各組1位が決勝トーナメントに進出する。

中四国からは環太平洋大、環太平洋大短大部、愛媛大が出場する。

## 昨年度決算報告など審議 県協会理事会

県協会の本年度第1回理事会が7月14日、広島市中区スポーツセンター会議室で開かれた。

昨年度的一般会計決算や国体強化費補助金、トップアスリート育成強化事業などの収支計算の報告があったほか、ナショナルトレーニングシステムの実施計画の説明があった。中国ブロックでは9日から3日間、湧永満之記念体育館で行われ、小、中、高生男女合わせて90人らの参加が予定されている。

また県教委、県体協のスーパージュニア選手育成プログラムの取り組みについての説明があり、トライアルに合格した小学5、6年の50人が来年1月まで体験プログラムに参加する。ハンドボールは7月に実施した。



呉高専、4強に残れず  
中国高専大会  
第50回国高専大会は7月5、6日、岡山県津山総合体育館で行われ、徳山高専が5年連続優勝し、19日から徳島県で開かれる全国高専選手権の代表権を獲得した。予選リーグA組広島からは呉高専が出場。予選リーグA組で徳山高専、宇部高専と対戦したが、2連敗し4強で争う決勝トーナメントに進めなかった。

■県小学生リーグ第2日■

▽高学年男子  
安芸高田27(11-4、16-6) 10向原  
呉12(9-3、3-4) 7メイプル  
安芸高田15(10-5、5-5) 10呉  
メイプル23(9-4、14-4) 8向原  
▽高学年女子  
向原17(8-5、9-4) 9安芸高田  
安芸高田19(12-6、7-12) 18向原  
▽低学年混成  
呉11(5-4、6-4) 8メイプル  
メイプル8(5-3、3-3) 6向原  
安芸高田22(11-0、11-3) 3向原  
安芸高田13(8-5、5-5) 10メイプル  
\*オープン参加(10分1本)  
呉8-0スナッピーズ、向原8-0スナッピーズ、

## スナッピーズが低学年特別参加

県小学生リーグ第2日は7月21日に呉市体育館で行われ、高学年男子は安芸高田が2勝を挙げ、通算4勝で首位キープ。同女子は安芸高田が4戦目で初めてHC向原を破った。低学年混成ではスナッピーズがオープン参加、10分1本で呉、向原と2試合した。

県小学生リーグ第2日

■中国高専大会■

▽予選リーグA組  
徳山24(8-6、16-9) 15宇部  
宇部37(19-1、18-5) 6呉  
徳山48(21-1、27-2) 3呉  
\*順位 ①徳山2勝②宇部1勝1敗③呉2敗  
▽予選リーグB組  
米子31(16-7、15-8) 15松江  
津山28(14-5、14-9) 14松江  
津山20(12-9、8-8) 17米子  
\*順位 ①津山2勝②米子1勝1敗③松江2敗  
▽準決勝  
徳山23(13-6、10-7) 13米子  
津山24(11-7、13-12) 19宇部  
▽決勝  
徳山21(14-4、7-9) 13津山